



第479号 2014年1月1日

編集・発行

アカシア会

連絡先 アカシア会事務局

〒734-0005 広島市南区翠1-1-1
 広大附高内アカシア会館
 TEL & FAX 082-253-5581

今回は 通算 562回 例会

会長挨拶

新年おめでとうございます。皆様におかれましては良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年アカシア会の活動を振り返りますと、従来と大きく変わった点があります。全国の地域アカシア会に常任幹事の選出をお願いし、110周年記念事業やアカシア会全体の運営に参加していただき、ご意見を拝聴しながら事業を推進したことです。110周年記念事業につきましては、実行委員会を発足させて議論を重ね、段々とその骨格が固まって参りま

したので、同封の記念事業特集号で報告させていただきます。

記念事業を進める上で、母校の校長を始め関係者の方々とお話しをさせていただき、以下のような母校の現状も知ることができました。近年の少子化は大きな社会問題となり、私立学校は生き残りをかけ、生徒確保の為に環境整備に力を入れています。一方、国の財政事情により広島大学への交付金は年々削減され、それに伴い母校の教育関係費は圧迫され、生徒の教育環境整備に十分な資金が回っていません。教育内容の素晴

らしさで圧倒的存在感を誇っていた母校への影響が心配されます。優秀な生徒を確保する為には、構内の景観やIT環境等の教育環境整備も無視できなくなっています。アカシア会として母校のために為すべきことを、全国の皆様方のご理解やご支援をいただきながら進めて参りたいと存じます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



アカシア会会長
 向井恒雄(50回)

平成27年(2015年)は母校創立110周年!

記念事業実行委員会が発足し、各地域アカシアと連携し、母校及び地域社会への貢献等に取り組んで参ります。皆様の積極的なご参加、御協力をお願いいたします。詳しくは母校創立110周年記念事業特集号をご覧ください。



広島アカシア会 1月例会(562回)のご案内 ~新年互礼会~

日時: 平成26年1月17日(金) 午後6時30分
 場所: アンデルセン(本通)

『指揮者』その仕事について

指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団指揮研究員 松浦 修氏(84回)
 オーケストラの中で唯一音を出さない人、それが指揮者です。その仕事に与えられた責任と役割、困難さと魅力について自らの体験を交えて紹介したいと思います。後半は、広島交響楽団のヴァイオリニスト後藤絢子さん、チェリスト熊澤雅樹さん、ピアノ松浦修で、ピアノトリオによるミニコンサートをお届けいたします。

2月例会: 2月17日(月) 午後6時30分

場所: アンデルセン(本通)
 卓話講師: RCC中国放送 社友 新井俊一郎氏(41回)

3月例会: 3月17日(月) 午後6時30分

場所: アンデルセン(本通)
 卓話講師: (株)融合事務所 宮崎 忠氏(66回)

広島アカシア会の懇親会費は4,000円(82回以降の卒業生3,000円)アカシア会員なら参加自由。お気軽に直接会場にお越し下さい。

2014年版

アカシア会会員名簿

好評販売中! 1冊 3,600円

2013年10月に発行した緑色の表紙の名簿です。
 お求めは同封の払込票で下記口座へご送金ください。
 ①01300-4-13111「アカシア会」



Contents

会長挨拶、月例会案内……………1	九州アカシア会……………9
地域代表者懇談会、常任幹事会報告、 運営会費納入のお願い……………2	呉アカシア会、東北アカシア会、 元教官の会……………10
友誼の御園……………3	職域・クラブ・同期会だより……………11
アカシア探検隊 宮崎忠氏(66回) ……4	会員名簿広告主、田坂義民氏(23回) ……14
アカシア夜話 科学学級……………6	出てもらうてもええかいのお、 アカシアカップル、アカシアライブラリー、 事務局だより、訃報……………15
いろいろアカシア情報、 東京アカシア会、近畿アカシア会 ……8	12月例会レポート、会報編集委員会 ……16
東海アカシア会、岡山アカシア会、	

第6回地域アカシア会 代表者懇談会

平成25年7月17日(水)広島アンデルセンで開催された。

向井恒雄アカシア会会長(50回)の開会挨拶、議事録作成者と認証者の指名、出席者紹介に続き、以下の議事について意見交換が行われた。①運営会費の納入状況報告と促進協力をお願い、②会員名簿協賛広告の応募状況報告と拡販協力をお願い、③各地域推薦の常任幹事に
関する会則改訂と連携強化について、④110周年記念事業とその実行委員会組織について。

次に各地域アカシア会から以下の通り運営状況が報告された。

岡山アカシア会：会合は年1回開催し、案内はメールを主体に一部郵送にて行っている。



近畿アカシア会：約200名が年会費を納入。懇親会は年2回で、出席者がやや固定化している。



東京アカシア会：懇親会は年2回開催、学生会員の就職相談も定着化。Eメールの管理も検討。



東海アカシア会：東海在住の会員は約140名。豊葦との合同開催が高齢化で困難になる。



九州アカシア会：熊本か大分での懇親会開催を模索。70名との連絡は主にEメールを活用。



東北アカシア会：東日本大震災後、活動を復活、9名が懇親会参加。年2回の開催を目指す。



呉アカシア会：懇親会は家族に配慮し日曜12時から開催、約40名参加、毎回講演を行う。



広島アカシア会：月例懇談会に平均80名が参加、卓話者の選出等を工夫し、活性化を図る。



最後に大方幸三幹事長(46回)が、各会の発展祈念と110周年記念事業への協力要請を述べ、閉会の挨拶とした。



出席者(敬称略)：アカシア会 会長 向井恒雄(50回)、副会長 吉中康麿(50回)、同 堀内重明(50回)、幹事長 大方幸三(46回)、事務局長 甲斐 稔(63回)、常任幹事 井藤壯太郎(50回)、同 小川玲子(50回)、同 中本泰弘(65回)、同 先本賢司(71回)、東京

アカシア会 事務局長代行 中村 英(57回)、近畿アカシア会 会長 堀内重明(50回)、東海アカシア会 会長 沖 信一(55回)、事務局長 佐藤哲郎(78回)、岡山アカシア会 常任幹事 横手靖吾(54回)、九州アカシア会 会長 伊藤 哲生(51回)、東北アカシア会 副会長 伊藤 勝(47回)、呉アカシア会 副会長 奥村誠哉(49回)、広島アカシア会 会長 吉中康麿(50回)、幹事長 白井孝司(59回)

常任幹事会報告



平成25年10月28日、母校会議室で開催された。向井恒雄会長(50回)の開会挨拶に続き、次の通り進行した。

<報告事項>(1)事業計画の進捗及び予算の執行状況：①会報発行、②会員名簿発行、③各地域アカシア会との交流、④原爆死没者・戦没者慰霊追悼の集い、(2)卒業30年日会員の運営会費納入状況、(3)その他：①母校110周年記念事業に8月に100万円を貸付け

済み、②アカシア会館の雨漏り修理費125万円を学校側(国)へ要請。③国からの交付金が毎年減額され、中学高校入学時、保護者より約11万円を集める「教育後援会」の実情説明。保護者負担は増える一方。

<協議事項>110周年記念事業：①母校への寄付金の募金活動を行う。その用途は会員が賛同するものとする。②記念行事：母校主催記念式典へ参加。アカシア会主催行事は宇宙フォーラム、記念祝賀会、オープンクラス会、記念ゴルフ大会、市内観光ツアー、少年サッカー教室を検討。③母校が発行する年史への寄稿とその販売。④記念事業広報誌や記念ガイドブックを発行。事業運営費は各催事の参加会費や広報誌、記念ガイドブック等の協賛広告収入で賄う。

最後に、大方幸三幹事長(46回)が、有意義に議論されたこと、今後の記念事業実行委員会の活発な活動と成功を祈念する旨を述べ、閉会した。

運営会費納入のお願い

アカシア会の健全、永続的な運営の為に、73回以前の卒業生全員に一万円の運営会費をお願いしています。まだ、納入頂いていない方は、振込票を同封していますので、是非とも会費1万円を最寄りのゆうちょ銀行よりお振り込み下さい。

安定した運営体制を次世代に引き継いで行く為にも、同学年やお知り合いの方に、お声をお掛けいただく様お願いいたします。

卒業回別納入者数(2013年11月30日現在) 対象会員数5783人・納入者数3371人・納入率58.3%

卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入
17回	1		32回	19	9	47回	157	109	62回	174	93
18回	1		33回	20	11	48回	166	157	63回	167	97
19回	2	1	34回	28	10	49回	158	109	64回	171	66
20回	1		35回	31	14	50回	173	118	65回	179	96
21回	1		36回	35	8	51回	160	138	66回	183	102
22回	1		37回	28	12	52回	167	110	67回	181	94
23回	3		38回	67	25	53回	187	109	68回	172	92
24回	4	1	39回	51	13	54回	176	93	69回	178	88
25回	3	1	40回	76	30	55回	181	99	70回	180	119
26回	4		41回	74	35	56回	173	97	71回	158	98
27回	5	1	42回	73	22	57回	173	141	72回	175	118
28回	6	3	43回	154	136	58回	165	88	73回	174	52
29回	15	6	44回	157	110	59回	183	99	合計	5783	3371
30回	7		45回	117	82	60回	175	92	学年ごとの納入状況をお知りになりたい方は事務局までお申しつけください。		
31回	13	1	46回	117	80	61回	183	86			

TATESHIBA



高濃度
プラスマクラスター 25000



業務用プラスマクラスター
イオン発生機

株式会社 立 芝
http://www.tateshiba.co.jp

友誼の御園 ～母校だより～

教育者表彰受賞

壇泉副校長が平成25年度教育者表彰を受けました。

学校教育の振興に関し特に功績顕著な教育者の功労をたたえ文部科学大臣がこれを表彰するものです。

第24回日本語による世界平和弁論大会 優勝



本年度4月から高Iクラスに所属しているドイツ人留学生サラ・バネリスさんが、留学生による上記のコンテストでオットー・ハーンをテーマにスピーチを行い、優勝しました。以下は彼女が日本語で書いた感想の一部です。

……彼は核分裂の発見でノーベル賞をとったドイツ人です。放射線治療やエネルギー問題の役に立つことを喜んでいただけ、彼の知らないところで、その発見は原爆になっていて、広島と長崎に落とされました。死ぬまでその出来事がショックで、一生懸命核兵器を廃絶しようと活動しました。

スピーチは初めてだったし、私の日本語が足りなくて、附属の先生にいろいろ助けてもらいました。上手に気持ちを入れることを練習しました。オットー・ハーンの伝記だけでなく、自分の考えや広島で体験したこと、資料館、被爆者との話、平和学習を入れました。

精一杯覚えて、本番の日が近づきました。緊張の気持ちと楽しみも増えました。参加者の中で友達に会えて、いろいろな国の新しい友達もできました。高校生も大学生もいました。エストニア、ホンデュラス、カザフスタン、……。みんなのスピーチは素晴らしくて、優勝できると思いませんでした。伝えたいことを伝えることだけに集中しました。だから、第1位のところで、「廣大附属」と聞いて、すごくビックリしました。理解するまで時間がかかったけど、すごく喜びました。もらった賞金を最初の貯金として、もう1回日本に来れるかもしれません！

◆◆◆◆ 高校修学旅行(台湾の旅) ◆◆◆◆

今年度の行き先は、台湾と北海道でした。今回は初めて訪れた台湾コースを報告します。

- 11/5(火) 広島空港—台北空港—龍山寺—中正記念堂—台北101展望台
- 11/6(水) 学校交流「師範大学附属高級中学校」—文化体験学習—上林夜市
- 11/7(木) 企業訪問—台北市内自主研修
- 11/8(金) 忠烈祠—故宮博物院—桃園空港—広島空港

○班別研修では、現地の大学生がガイドとして班に1、2人ついてくださいました。私の班のガイドさんは、とても親切で良い方でした。オスメのから揚げも忘れられません。私たちのためにメモを見ながらほとんど日本語で案内してくださいましたことに感謝しています。おかげで研修はとても楽しく充実したものになりました。交流校の生徒さんとも仲良くなれたし、現地の方とこんなに交流できることもあまりないので、本当にいい経験になったと思います。



桂 志織(高II)

○4日間は本当に一瞬で過ぎ去ってしまいました。でもその一瞬でいろいろな人と交流することができたと思います。学校交流では英語で、班別自主研修では日本語と英語でコミュニケーションをとり、言葉が足りない部分もお互いを理解しようという気持ちで補うことができました。あとはもちろん、友達といつも以上にたくさん話せて、今まであまり話したことがなかった人とも仲良くなれました。修学旅行でしかできない様々な経験ができた4日間だったと思います。

須田 彩花(高II)

ESDの視点や国際性を備えた人材及び指導者を育成する研究開発

— SSH科学技術人材育成重点枠(海外連携) —

平成25年度より2年間、SSHの従来取り組みに加え、上記重点枠の指定を受けました。「持続可能な社会」の形成のために必要な課題を明らかにし、どう解決していけばよいかについて自ら考え、行動し、先導できる人材の育成を目指して海外の理数教育推進校との連携を図っています。1年目はドイツ、タイへ生徒を派遣する一方、韓国、チェコからは来校してもらい、2年目はその逆になります。こうして高校生を海外に派遣し、言語、文化、歴史等が異なる同世代の人々と交流することは、世界に通じる理数教育の推進につながると考えています。



ドイツ
ホームステイ先の生徒と



ドイツ
平成25年11月
訪問



ドイツ
ブルッフザール城にて



タイ
平成26年2月
訪問予定

広島大学
附属高等学校

韓国
平成25年10月
来校



チェコ
ハイスクール・ヴァイシュコフの生徒と

チェコ
平成25年11月
来校



韓国
ムンサン女子高等学校の生徒と

と違っていますが、今はこれで良かったと思っています。

谷：今後はどのような活動に重点をおかれるのでしょうか？

宮：後進の育成ですね。舞台やドラマ等の俳優や演出家といった人材の発掘や教育をやりたいと思っています。タレント(才能)が成長を始めた時の煌めきとか眩しさは、こちらがワクワクするほどの輝きがあります。それをサポートすることにとっても幸せを感じる事ができるんですよ。

谷：なんか壮大な事業ですね。

宮：いや、それは事業ではないですよ。

谷：と、言いますと？

宮：ん～、なんと言ったらよいのか……。50代からの「真の暇つぶし」でしょうかね。(笑)

谷：深いお言葉ですね。現役の生徒達へのメッセージもお願いできますか？

宮：何年前に、文化祭の演劇のお手伝いで附属の生徒と触れ合う機会がありました。その時に感じたのは、とても感性が鋭くてポテンシャルが高いな、と言うことです。ですがなんとなくきれいで、こじんまりとしてワイルドさに欠けるな、とも思いました。自分が関わっていることに、なんでだろうと、もっともっと好奇心を抱いて行動してもらいたいです。「私はポテンシャルのある選ばれた人間だ」と、良い意味でのプライドを持って欲しいんです。もっともっと大きい単位でのリーダーシップを発揮する為の「好奇心」です。

谷：例えばどんな点でポテンシャルの高さを感じられましたか？

宮：その時「ナンバーズ・ゲーム」と言うのをやったんです。数人で集まってある範囲の数字を次々に言っていき、数字がかぶってはいけないゲームです。これは観察力・想像力が必要で、かつ創造力や人への気遣いできないと上手く行かないゲームです。役者の卵たちにも良くやらせるんですが、全

然レベルが違いましたね。段違いの高レベルでした。余裕で演技の世界もこなしてしまう生徒たちに舌を巻きました。本質を理解するのが圧倒的に早い。卒業したら、全員ウチの事務所でスカウトしようかと思いましたよ。(笑)

谷：こじんまりとしてワイルドさに欠ける、と思われたのは何故ですか？



宮：時代背景もあるのかもしれませんが、「胆力」が備わっていないのかな、と。でもこれは生徒だけが悪い訳ではないと思います。附属の伝統を上手に伝えていくことが出来ていないのではないのでしょうか。附属の伝統と言うか原点は全人教育ですよ。知育に偏りすぎると、能力を発揮するための「胆力」が備わってこない。文化祭・体育祭・部活などをもっと活発にやってこそ附属なんじゃないですかねえ。後輩たちには、その事を念頭において学校生活を送って欲しいと思います。あまり勉強しなかった自分が言うと言説得力に欠けますが・・・(笑)

そして、最近巷で良く耳にするのは「附属じゃなくてもいいじゃないか」って言葉です。それは即ち附属独特の教育、附属に入らないと味わえない雰囲気も薄くなっているという事ですよ。それは何故なのでしょう？『附属生の未来が、日本の未来を決めるんだ』ぐらいの気概を、生徒も先生も持ってほしいですね。

谷：最後にアカシアメンバーへのメッセージをお願いします。

宮：ん～、これが一番難しいなあ。落ち

こぼれなもので・・・(笑)。卒業後は同窓会やクラス会にも全く顔を出してなくて、ようやくここ数年アカシア会に顔を出し始めたわけですからねえ。ですがあえて言うなら、特に若いアカシアメンバーには「同窓会やアカシア会には出来るだけ顔を出した方がエエよ。」って言いたいです。各方面にユニークで素晴らしい人材が数多くいます。「後輩はもっと先輩を頼っていいんだよ」とも言いたい。そして、おこがましいんですが先輩方には「母校の事をもっと気にかけて、後輩を叱って頂けたら」と思います。

先程述べたように、様々な点で附属は変わってきているようです。時代の流れと共に変わるべきものはありますが、変わらない大切なものもあります。それは「アカシア精神・アカシアスピリッツ」でしょう。それを若いアカシアメンバーは勿論、現役の生徒に伝える場を、機会を作れないかと思うのです。ウチの校歌って、よく考えると素晴らしいですよ。アカシア精神の香りがしますよ。現役生徒にその香りを伝える、共有する場を作るため、微力ながら自分の得意分野で、何かできないかと思っています。

谷：今日はお忙しいところ、本当にありがとうございました。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆
中：あら、柳葉ちゃんには会えんのか？
谷：何を寝ぼけた事ゆうとるんですか！まだ二日酔いかいの。はぁ帰りますよ！

中本泰弘(65回)
谷口公啓(73回)



左から谷口(73回)、中本(65回)、宮崎氏(66回)



ヒトにうれしいコト。

これまで、みなさまに「おいしさ」で「うれしい」をお届けしてきた私たち、カルビー。でも、「ヒトにうれしいコト」は「おいしさ」だけではありません。「美しい音色を聴いて、心が潤う」ことも、「素晴らしい絵画を見て、心が動かされる」ことも、私たちの暮らしになくてはならないこと。これからも「ヒトにうれしいコト」を、カルビーから。

掘りだそう、自然の力。
Calbee

アカシア夜話

アカシアンナイト
第11話

(科学学級4年生の被爆)



昭和19年(1944年)9月「戦時頼才(えいさい)教育機関設置に関する建議案」が衆議院にて可決され、同年12月、文部省は「科学に関し高度の天分を有する学徒に対し特別なる科学教育を施し我国科学技術の飛躍的向上を図らんが為之が実施に関する方途を研究せんとす」として、東京高師、東京女高師、広島高師の各附属国民学校(現在の小学校)、附属中学校(現在の中・高等学校)、及び金沢高師に属するものとして、石川師範附属国民学校、石川県立第一中学校に特別科学学級を設置しました。

これを受け、母校は昭和20年1月に編入試験を実施、1月20日より1～3学年に各1学級の科学特別学級を開設、授業を始めました。この時、東京高師附中などでは在學生から選抜したのに対し、母校では西日本一円から広く生徒を募集、第1期生(3年生)31名のうち18名は他校からの編入になりました。このことが以後、正規学級の生徒と軋轢を生むもととなります。

4月になり1期生が4年生となって、最上級生となりました。(昭和19年より、旧制中学は5年制から4年制に変更。第10話参照。)既に正規学級の3・4年生は、軍需工場での勤労奉仕に動員されて学校を離れており、さらに1・2年生も、勤労奉仕で学校を離れる事が多くなっていました。学校に留まって授業を行っていた科学学級も、6月末には1～3年生99名が、比婆郡東城町に疎開。他校の生徒が動員される中、疎開が難しかった正規学級の1・2年生も、7月には「農村動員」と言う名目で、賀茂郡原村、豊田郡戸野村に疎開。そして、学校に残って授業を受けるのは科学学級4年生のみとなり、8月6日を迎えました。

当時のお話を、科学学級1期生で京都在住の山野上純夫さん(38回)に、伺いました。

入学試験・授業

山野上：私は附属にお世話になって、良い教育を受けさせてもらったと思っています。ただ、附属に対する母校意識というか、帰属意識が非常に薄いのです。広島県人でないためなのかな。新井君(俊一郎、41回)とか高田君(勇、41回)とかに引っ張り込まれて、まあ少しは母校が懐かしい気持ちに、なっていますけれど。私は間違っただけで附属に入ったんだ、と思うので。

甲斐：優秀な人が科学学級に入られたはずだから、そんなことは…。山：私はなぜ選ばれたのか、よくわかりません。特に平素の成績が良いわけでは

ない。でも、試験の出来はわりに良かったらしいのです。編入試験問題の一つに「神様がもう一つ目を下さったら、お前はどこにつけるか」という問いがありました。指先につけるとか、頭の後ろにつけるとかという答えが多かったらしい。でも指先に目があると手の動きを妨げる。後ろを見る目は脳の構造を複雑にする。私は三つ目小僧のように額に着けて、立体感が分かるようにしたいと答えました。甲：それが良かったのですか？山：そうですね。



山：その当時、工場に動員された者の始業が午前7時です。それに合わせて、科学学級も7時始業でした。それで、午後4時ぐらいまで授業がありました。午前4時間、午後4時間。1コマ2時間ずつだったと思います。指導の責任者は文理大(旧制広島文理科大学)の三村剛昂(よししたか)教授(理論物理学)で、文理大や高師の先生から、微積分や解析幾何、物理学や有機・無機化学、生物学などを教わりました。授業中、学術用語が出てきたら必ず原語を教わるように、躰られました。大部分は、旧制高校の1年生ぐらいの数学や物理、化学だったですね。

軋 轢(あつれき)

甲：あえてお尋ねします。科学学級と正規学級の間には軋轢があったとか。

山：科学学級の1期生として編入されたのは31名でしたが、附属中学校から転じた13名の他に18名は他校からの編入となりました。昭和20年1月から3年生として編入されたのですが、4月の4年生進級とともに、附属中学出身の3名が海軍兵学校に行きました。正規学級の生徒にしてみれば、科学学級の半数を超える他所からやって来た者が、突然同じ最上級生として加わったのです。また、正規学級は全部動員で、学校を離れているのに、科学学級だけは学校で授業を受けているのです。この様な事から科学学級と正規学級の間ではいろいろな軋轢が生じました。

東京高師附中など他校の科学学級では、校内のみを選考の対象にしたり、事前の配慮に努め、軋轢を予防したそうです。また、2期生以下の科学学級も昭和20年6月には東城に疎開して科学学級のみで集団生活を送ったため、我々とは事

情が違うようです。正規学級の1・2年生もそれぞれ疎開して行き、正規学級の3・4年生は動員されて勤労奉仕。科学学級4年生のみが学校で授業を受けている状態になっていました。

そしてある日の朝、内容を伏せますが教室を変えざるを得ないような事件が起こりました。

被 爆

山：だが、その教室替えが幸いして、爆風を直接受けずにすんだのです。海軍兵学校に行った3人を除く28名から、さらに2人休学して、26人が同じ教室で、原爆に遭(あ)いました。私は運良く、すぐ這い出しましたが、皆、校舎の下敷きになりました。這(は)い出した者で、尾道中学出身の赤松光君の指図のもと、有機化学の授業をしていた増本文吉教授や級友の救出をしました。加藤(恭三)君は、押しつぶされて即死していました。それから、姫路から来ていた光明(幹郎)君が、重傷を負い、15日後の21日に亡くなりました。だから原爆で直接亡くなったのは、2人です。24人まで助かったのはラッキーだったとも言われますが、生徒としての行動中の死亡は全校でこの2人だけです。他に課外活動中の1・2年生4人が亡くなっています。やがて高師の校舎の一部から火柱が上がり、方々からも火が燃えて来るから、私は鷹野橋から比治山橋へ行く広い道路を通って、比治山橋の西詰めの自宅へ向かって、逃げたのです。その方向には、皮膚がただれて垂れ下がったような人はいませんでした。ただ、怪我(けが)をして痛いというような人は、たくさん見ましたけれど。私の母親と弟、妹は、4月に加計町に疎開して、広島市内にいたのは、父親と私の2人だけでした。父親も、怪我もほとんど無しに助かりました。ですから、幸いにも私は、原爆で家族を失っていないのです。翌日、爆心地を通りました。それから、横川駅へ出て可部線の電車に乗り、8日の午後には、加計町に疎開をしている家族の所に着きました。加計では、町民に協力して山中に入り、飛行機の燃料にする松根油採りの作業をしたのです。しかし、なんとなく体がだるい。今思うと、白血球が減っていたのですね。そのままだったら、急性原爆症が出たかもしれません。ところが、それから1日か2日たった時、当時の上殿村、加計の隣村に居た佐々木弘暢(正規学級38回)君からの伝言がありました。うちへ来て、広島の様子をきかせてほしいと。佐々木君は動員先の被服廠を休んでいて被爆を免れました。あっちでもこっちでも、広島で原爆に遭って死んだという話がある時、表へ出たくなかったので、私を呼んだのだと思います。約8kmの道を歩い

て、彼の家へ行き、自分の見た広島のことを話しました。その時に、彼が家で作った、当時は貴重品のトマトを2つくれたので、かぶりついて食べました。そして、加計町の仮住まいへ帰る途中に、ハッと気がついたら、体がしゃんとした。新鮮な野菜を食べた事が、体に作用したのじゃないか、と思います。

被爆死した**光明君**の話をしましょう。彼は姫路中学からの編入でした。当時、男子中学生は軍の学校へ行くのが、一番のお国へのご奉公だ、という時代でした。周りの人は、**光明君**に海軍兵学校を受けなさい、と勧めました。ところが、ご両親、特にお母さんが、軍人だから死ぬことがあると。たまたま学校に届いた通知を見ると、広島に科学学級が出来るらしい。科学の勉強なら死ぬことは無いだろうと、無理やり**光明君**を受けさせたんです。ところが広島では、たった2人亡くなったうちの1人になってしまったのです。ご両親の嘆きは、いかばかりだったかと思います。**光明君**は、頭が良く体も立派な人でしたが、重傷を負って、耳がちぎれかかっています。その**光明君**に肩を貸して、一緒に逃れたのが、広島二中出身の**外林(秀人)君**です。**外林君**の家は舟入の南のほうにありました。途中で元安川と本川があります。ところが、明治橋とか住吉橋のあたりはもう、火の海なのです。それで南の方に回って、修道のあたりに行きました。

明治橋よりずっと下流へ行ったら、船



があったので、**光明君**をかつぎおろして、その船に乗せて渡って。また、本川も同じように船で渡して、土手へ上がったら、仮設の救護所ができてました。それで**外林君**は、自分の家へ連れて帰るつもりだったらしいけれど、医者に診せた方がよいというので、**光明君**を救護所に引き渡したのです。仏教では、菩薩行と言いますが、もしも**外林君**の菩薩行が無かったら、**光明君**は途中で行き倒れて、焼死してしまったか、身元不明の無縁仏になったか、と思います。救護所に引き渡したために、一応、赤チンを塗るぐらいではあったらうけれど、手当てをすることができました。やがて、姫路から列車を乗り継いで、駆けつけたご両親が、あちらこちら探し歩いて、**光明君**を見つられて。しかし、その時は、もう薬も何もあるわけじゃなし、ただ死んで行くのを見守るだけじゃなかったか、と思います。**河**：でも、お会いになれたのですね。**山**：ええ、死に目には会えました。それは、**外林君**のおかげです。それで、ご両親

親は**光明君**を骨にして、寂しい気持ちで姫路に帰られました。自分達が科学学級にやらなかったら、こうはならなかったと思われたのでしょうか。ご両親はその後、原爆について一言も語らず、姫路から西への旅行には、一切行かなかったそうです。

戦後・そして

その後、10月に4年生の私達は、向島町にあった文理大の臨海実験所に集められ翌年3月の卒業まで、文理大の教授から、授業を受けました。まだ、被爆の傷も十分癒えぬこの時期に、24名の同級生が集まったのは、特筆すべき事だったと思います。

被爆する前に**三村**教授から、「今に、一つの都市を焼き尽くすという、大きな実験が起こると思う。その時に君達は、科学を学ぶ生徒として、冷静な目で見つめてほしい」と言われていました。だが、わずか1.5kmの所から、原子の火を見る事になろうとは、誰も予想できませんでした。

編集を終えて

三村教授は「この度の戦争には、原子爆弾は間に合わないと思う」とも、2～3度言われていたそうです。教授自身、どのような気持ちで、原爆を見られたのでしょうか。

文責・編集：甲斐 稔(63回)

編集補：河本良子(63回)

科学学級同窓会



終戦前後の激動の時期を科学学級で過ごした、1～5回生の合同同窓会が10月29日、東京・南青山のホテルフロラシオン青山で開かれました。

附中科学学級に在籍した18人のほか、金沢高師に付属して県立一中に併置された科学学級出身の2人と関係者1人も参加し、にぎやかな会となりました。

3回生の可部順三郎さん(40回)の司会ではじまり、全員が当時の思い出や近況を語り合いました。

科学学級は、1回生が附中3年生の昭和20年1月、広く全国から公募

して1～3回生までの選抜試験が行われ、1回生31名、2回生31名、3回生34名の入学が決まりました。4回生戸井良治さん(41回)作成の名簿を拝見して驚いたのですが、中国・四国はもとより、東は大阪から西は福岡まで西日本一円から生徒が来ていたのです。

この科学学級設立に情熱を注いだのが、三村剛昂広島文理大教授でしたが、1回生は三村教授のほかに文理大の教授や、広島高師から先生が来て、直接授業を行いました。中学校の4年間に旧制高校2年生並の学力をつけることを一つの目標にしていました。

今回は1回生から初めて3人の参加があり、貴重なお話をうかがうことができました。

文理大や高等師範の先生から直接授業を受けることができたのは、1回生だけのようでしたが、下級生からは「本当に授業についていけないのか」という質問もとんでいました。

せっかくの科学学級でしたが、上級学校への進学が制度的に保障されておらず、三高の試験では、文科系の勉強はまったくしていなかったもので、あまりふるわなかったそうです。

最後に会の名前を「広島高等師範附属中学科学学級関東会」と名付け、来年も集まることを誓い合いました。

当日の出席者は(1回生)植田国昭、江藤哲太郎、山野上純夫、(2回生)佐藤良正、杉岡章、福井宏、(3回生)朝岡卓見、石原巖、小穴雄康、東壽太郎、可部順三郎、(4回生)池田葭哉、戸井良治、松浦功、大隅和雄、(5回生)佐伯康治、藤井恭一、奥出克洋、(金沢高師2回生)池田長康、土田榮作、(同事務局)森下恭子の皆さんでした。

文責：中村 英(57回)



いろいろアカシア情報

- ◆呉アカシア会 2月2日(日)開催。
 - ◆東海アカシア会総会 2月中旬に開催予定。詳細は右記各地域アカシア会事務局へお問い合わせください。
 - ◆バスケットボール班OB・OG会では、母校創立110周年を迎える平成27年1月2日(金)に、できるだけ多くの年代の方にお越しいただき、盛大にOB・OG会を開催する予定です。詳細は、平成26年7月のアカシア会報全国版及びOB会のブログ「アカシア籠球通信」にてお知らせしますので、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。
- 発起人：杉山亮一(75回)

同期会・出版・その他会員の皆様の情報を掲載させていただきます。ぜひご活用ください。

湯崎英彦氏(75回)再選

昨年11月10日に投票された広島県知事選で湯崎英彦氏(75回)が圧勝、見事再選を果たし、2期目をスタートした。1期目では「瀬戸内 海の道1兆

円構想」を掲げ、観光キャンペーン「おいしい!広島県」を展開、又、自ら育児休暇を取る等、全国から注目を集めた。

(写真は11月18日広島月例懇談会で挨拶)



各地域アカシア会のご案内

地域	会長	事務局	行事予定	地域	会長	事務局	行事予定
東京	的川泰宣(50回)	〒182-0023 調布市染地2-30-3-105 中村 英(57回) TEL042-485-6600 Eメール nkmred6e@gmail.com	春と秋に総会と懇親会 次回は6月14日(土)	広島	吉中 康彦(50回)	〒734-0005 広島市南区翠1-1-1 広島大学附属高等学校内 TEL082-253-5581	例会は毎月17日(原則として)
近畿	堀内 重明(50回)	〒669-1506 三田市志手原920-47 岡 國太郎(57回) TEL079-564-2414 Eメール okakunichan@nifty.com	総会6月と12月 次回は6月1日(日)	九州	伊藤 哲生(51回)	〒814-0142 福岡市城南区片江1-25-10 サポート一級建築士事務所内 山本哲三(61回) TEL092-863-0151 Eメール syam02038@jcom.home.ne.jp	総会10月頃
東海	沖 信一(55回)	〒442-0884 豊川市光明町2-41-55 佐藤 哲郎(78回) TEL0533-83-0981 (FAX兼用) Eメール tetssato@quartz.ocn.ne.jp	総会と懇親会 2月と9月	東北	野尻 久(33回)	〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学学際科学 国際高等研究センター 八百隆文(53回) TEL022-795-4400 Eメール tyao@cir.tohoku.ac.jp	懇親会 次回は5月を予定
岡山	大本 榮一(27回)	〒700-8550 岡山市北区山下1-1-13 大本本組内 TEL086-225-5131 大本榮一(27回) Eメール fc-yokote5555@ezweb.ne.jp 横手靖吉(54回)	総会 11月第2土曜日	呉	大之本 精二(43回)	〒737-0079 呉市上平原町14-33 殿村 礼子(52回) TEL0823-23-9728	次回は2月2日(日)

東京発 東京アカシア会 平成25年度秋季懇親会

秋晴れの11月17日(日)、平成25年度秋季懇親会がスクワール麹町で開催され、今年度も35回から102回卒業まで67年間の年次を含む総勢121名の参加者が集いました。

まずは、この半年間に亡くなられた18名の方に黙祷を捧げ、その後、的川泰宣東京アカシア会会長からご挨拶をいただき、藤井恭一氏(42回)のご発声で乾杯を致しました。開会にはゲストにソプラノ歌手・雨谷麻世さんと東京アカシア会の合唱団コールアカシアを迎えて『未来(ゆめ)をのせて ～はやぶさの軌跡～』を披露いただきました。人工衛星『はやぶさ』に捧げるこの歌は的川会長が作詞されていること

もあり場内大変盛り上がり、会をスタートすることができました。

しばし歓談の後、前回好評であった企画、15チーム対抗のクイズ大会を実施しました。附属にまつわる世代を超えたクイズを、世代混合のチーム対抗で競う企画です。カルビー様、広島カープ様、円谷プロ様、82回幹事学年からの提供賞品を、1位のチームが獲得できる座組で、世代間のコミュニケーションも活発となり、前回は上回る盛り上がりとなりました。賞品ご提供をご快諾いただきました皆さまに深く御礼申し上げます。その他の賞品は、その後の抽選会にて活用させていただきます。



お開きの時間には、参加者全員が大きな輪になって肩を組み、コールアカシアの方々を中心に校歌斉唱。大盛況のまま閉会となりました。こちら恒例となりつつある二次会にも大勢の方が参加され、世代を越えた交流を深めることができましたかと思ひます。

東京アカシア会では、幅広い世代の参加促進・交流の活性化に向けて今後も準備を進めていきます。春季総会は2014年6月14日(土)の開催です。

2013年11月23日記
文：梶川拓也(82回)
撮影：長谷博史(82回)

近畿発 近畿アカシア会後期総会

後期総会を、12月1日(日)大阪第一ホテルで開催した。

第一部の司会は皇暢子さん(46回)にお願いし、堀内重明会長(50回)の開会挨拶のあと来賓としてアカシア会事務局長の甲斐稔氏(63回)から、二年後に110周年を迎えるにあたって附属高校の現状の紹介があった。乾杯は最年長の上本和彦氏(35回)にご発声をお願いした。上本氏は海軍兵学校に進まれ、在学当時井上成美校長(米内光政、山本五十六とともに阿川弘之著の伝記小説三部作でも有名)が、当時英語は敵国語として禁止されていた状況下でも生徒には英英辞書を持たせ英語教育を奨励していたお話しと、以下のケルトの言い伝えを披露され乾杯に移った。

Money lost little lost, Honour lost much lost, Heart lost all lost.

会食から司会は川村美貴さん(97回)が担当し、参加者同士の交流をねらいとしたゲームを取り入れて進化した。まずはテーブルごとにじゃんけんをして、勝った人一名を選出してもらった。選出された四人にはご褒美の代わりに三つのお題でのスピーチをお願いした。テーブル対抗の三択クイズ大会もあった。「附高は2015年には創立110周年を迎えるが、元素記号の110番は何か？」などの近畿アカシア会らしい(?)高度な出題が続いた(正解はDs ダームスタチウム)。一番早く八問を解いたテーブルには景品が贈られた。ご褒美代わりにのスピーチでは、甲斐稔



(63回)、村田好正(41回)、村田澄子(50回)、水村雅子(43回)の各氏が、制限時間内で高校時代の思い出や、今はまっていることなどについて話された。最後は恒例のアカシアソング斉唱、次回開催に関する幹事長報告で閉会とした。

*次回総会は2014年6月1日(日)正午より開催予定です。

12月10日記 岡 國太郎(57回)
[前出以外の出席者](38)香川昇、川本和良、(43)米澤啓明、(45)山下善道、上野徳恵、(46)生塩之敬、(50)埴本勝司、(62)豊島秀郎、(63)勝丸浩之、(64)田頭史明、徳丸義也、(102)永井将貴、(103)行広侑真、西岡亮之、岡田知也、棟田修平

二梓(1/5頁) 月例版3万円 全国版4万円
お問い合わせ・お申し込みは事務局まで

東海発

東海アカシア会・豊葦会 ビアパーティ

クールビズやら節電グッズがまだまだ必要な9月22日に、恒例の東海アカシア会・豊葦会のビアパーティを名古屋駅前のレストラン「バックナール」で開催しました。

今回の参加者はご来賓の吉中康磨アカシア会副会長(50回)以下16名+同伴1名です。最高齢の吉本幹彦元会長(41回)のご発声で乾杯し、和洋料理とビールやワインあるいはソフトドリンクなどをそれぞれのペースで楽しみながら、息災であることを喜び合うことができました。

今回の初参加は、最近この地区に住まうことになった元バレエ班の奥村真一さん(72回)です。この年代は仕事と家庭の両方で実務が多い頃でしょうか。

いらしていただいて特に嬉しいです。

戦後すぐの頃の写真を示して原爆の思い出を語ったのは中村博之(43回)さん。齋藤翁(しげる、48回)前会長は江戸城天守閣の再建の活動をされています。兼川徹(48回)さんからは伊勢イベントの現地の話題が紹介されました。林滋さん(同)は48回の同期会について。沖信一会長(55回)・坂本利彦監査役(同)からは、暮れに発表される今年の漢字など仕事の話題や近況が。花岡正紀さん(48回)・安田健一さん(59回)・成瀬まり子さん(65回)からは家庭菜園あるいは本式の農作業、今年の猛暑と水不足の話題がでました。服部清美さん(72回)の翻訳業は佳境に入っているそうです。1番目と2番目に若い参加



者は、お嬢さん(怜葦さん)を同伴していらした水馬裕子さん(85回)でした。最後に作曲家の梶幸一朗事務局次長(81回)の指揮で校歌を斉唱してお開きになりました。附属のこと、仕事のこと、家庭のことなど世代や上下や利害を超えた話ができることがアカシアのつながりのかけがえのないところだと感じました。

次は、2014年2月に総会を開催しますので、東海地方在住の皆さんは是非ご参加下さい。学生さんは無料です。

9月29日記 佐藤哲郎(78回)

岡山発

第57回岡山アカシア会 報告

第57回岡山アカシア会を、2013年11月9日(土) 18時から岡山プラザホテルで開催した。参加者は、「青春まっただ中」の怪物会長27回大本築一さんから100回の学生さんまでの28名と、旧教官の有田正志先生、広島アカシア会の榎本良二さん(69回)。大本会長が人との繋がりや有り難さを語られると本当にそうだ、と感じる。有田先生からは、皆実町、東雲、福山、三原、西条などの、今後の附属のあり方の具体的なお話をお聞きした。卒業生としては母校の行く末は気になる場所であり、ホットな情報はとても興味深かった。また、今の附属の様子のいろいろとして、例えば、SSクラスでは、ドイツ、チェコ、タイなどの多彩な国々との交流が

活発であること、修学旅行の行き先は、外国と国内とが半々で、生徒達が毎年、自主的に企画する、等、グローバル時代を担うに足る後輩の皆さんの話を頼もしくお聞きした。榎本さんからは再来年の110周年記念行事の話をお伺いした。母校の発展は何より嬉しいものである。

さて、集まった我々…一年の経つのは年々早くなるのに、参加者の顔は昨年と変わらずお元気である。同窓の魔力で、日頃顔を合わせるわけではないのに、前回会った時からの「時間」はなかったかのように、話が弾む。ところで、「還暦」は今どき誰も大きな節目とは思っていないけれど、クラス会が急に盛んになるきっかけにはなるらしい。60回の人からは、還暦を機にあ



ちこちで学年会を開き始め、出色なのは、佐々江賢一郎さんを追っかけて、現地集合・現地解散で、ワシントンで学年会をしたとのこと。来夏もスウェーデンで学年会を開く予定だそうである。素晴らしい。61回からは、青空文庫の富田倫生くんを夏に亡くしたことで、出版物へのフリーなアクセスを通しての彼の「文化」への思いの共有と、力添えをお願いした。2014年11月第2週の週末に会いましょう。

青木三恵子(61回)

九州発

第10回九州アカシア会総会・懇親会



10月12日(土)夕刻より、JR博多駅前のANAクラウンプラザホテルにて、第10回九州アカシア会総会が開かれた。昨年、八木聖二氏(54回)が東京転居のため会長を勇退された後、伊藤哲生(51回)新会長のもとでの初めての総会であった。出席者は26名(特別会員・中村重太先生、アカシア会からは副会

長の吉中康磨氏(50回)、一般会員20名、学生会員4名)であった。

ここ数年、出席者の年齢層が60回代を中心として推移しており、今回も26名中、半分以上が60回代であった。特に65回から66回の団結力は強固で、九州アカシア会の推進力となっている。昨年からの継続参加の学生会員4名のうち2名には、会場受付も担当していた。会運営も活性化している。

講演会の講師は、佐賀大学医学部教授 出原賢治氏(67回)による「どうしてアレルギーは起こるんだろう」。アレルギーが起こるメカニズムと、どうしてアレルギーが増えているのか、これ

からどのようにアレルギーに対応していけばいいのかという話を、分かりやすく親切丁寧に解説された。

懇親会では、吉中副会長が広島から持参されたもみじ饅頭が全員に振る舞われ、故郷の懐かしい味に舌鼓を打ち、附属時代の話題、広島カーブのクライマックスシリーズ戦績の話など、会場は心地よい笑い声に包まれ、あっという間の2時間であった。

山本哲三(61回)

[参加者] (旧) 中村重太、(46) 國次太郎、(50) 吉中康磨、(51) 伊藤哲生、(55) 添田寛子、花栗美百合、(61) 河野博之、山本哲三、(62) 豊原敏光、(65) 杉田俊介、山口孝則、(66) 出原眞理加、岩國 治、荒神一臣、佐藤英博、谷 正和、三原太、(67) 出原賢治、(68) 貞刈暢代、(69) 宮本京子、(77) 山崎 晶、(80) 楠 英之、(95) 細川裕子、(99) 古谷ゆう子、古本政博、(102) 竹本駿太

アカシア会報に広告を載せませんか?
一枠(1/10頁) 月例版1.5万円 全国版2万円



呉アカシア会 総会・第6回例会

猛暑日の続くなか8月11日(日) 呉阪急ホテルに於いて、地元呉を中心に広島、竹原、東広島、遠方東京から32名の参加により、平成25年度総会並びに第6回呉アカシア会例会を開催しました。総会前に大之木精二呉アカシア会長(43回)より「アカシアの仲間の各方面での活躍がすばらしく伝統と絆の強さを実感しており、今後の更なる発展を期待したい。」との挨拶とアカシア110周年記念事業実行委員長の本田和哉様(62回)より「附属学校再編の流れの中で残るべき本校として、記念行事のあり方を真剣に考えて取組むことが必要な時期。ぜひご支援を。」とのお話がありました。引続き総会では、奥村誠哉幹事(49回)より24年度の事業

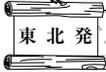
報告並びに25年度の活動計画について説明後、殿村礼子幹事(52回)より24年度の会計報告を行いました。また、谷田部広志監事(65回)より、井門和俊監事(54回)と実施した会計監査結果から適性に処理されていることを報告し満場一致で承認されました。

懇親会では特別講演として中西巖様(38回)より「今は被爆者の一人として広島原爆にまつわり伝えていくべき辛い思い出」の中から、68年前の学徒動員の体験と8月6日当日の目を背けたくなる地獄絵の中でこんなにも生き残ることがつらかったこと、決して二度とあってはならないが命ある限り伝えていかねばならないとお話されました。井藤壯太郎様(50回)の音頭で乾杯



の後、ご多忙の中ご来場の副大臣寺田稔衆議院議員(66回)より国政報告があり、また、東京からお越しのNHKエンタープライズ(株)岡田俊郎様(58回)よりアカシア会への励ましの言葉がありました。その後はそれぞれのテーブルで高校時代に戻っての歓談が進み、校歌斉唱、記念撮影そして恒例の榎本良二応援団長(69回)によるエールの後に閉会となりました。なお、次回は平成26年2月2日(日) 12時から呉阪急ホテルで第7回例会を予定しています。

11月14日記 谷田部広志(65回)



東北 2013年東北アカシア会秋期懇親会報告



秋期懇親会を10月5日(土) 16時～18時半、仙台市内の「シェルブール」で開催した。野尻久会長(33回)が心筋梗塞による療養中のため欠席。早期の快癒を願うばかり。

伊藤勝副会長(47回)の挨拶、続いて昨年4月より国土交通省から大船渡市副市長として着任し大震災復興に尽力されている角田陽介氏(82回)より講話。講話では、自己紹介、東日本大震

災の特徴、大船渡市の被害状況と復興、被災地に1年半住み働いてみた所感、被災地と被災地以外の意識格差が広がっている状況などについて話していただいた。強く印象に残ったことは、「てんでこ」に象徴される大船渡市民の津波災害に対する意識の高さ。大船渡は典型的なりアス式海岸の美しい町。しかし、貞観大地震、慶長地震、昭和三陸地震、チリ地震、そして東日本大震災等々と津波災害に遭遇した歴史がある。今回の大震災では市の所帯の4割が被害を受けたにもかかわらず死者と行方不明者数は市人口の1割であり、被害所帯数に比べ死者と行方不明者数が少ないのは、高い災害意

識によると思われる。津波災害に対する大船渡からの情報発信を期待する所以。

その後、佐島育子氏(86回)の乾杯の音頭で宴が始まり、会員の近況報告、新参加者の自己紹介と懇談が活発に行われ、宴も半ば過ぎて恒例の校歌斉唱に続いて、結びの挨拶(八百隆文)、最後に角田陽介氏の音頭で一本締めをして会を終えた。なお、会を終えた後、母校創立110周年記念事業について話し合いを行い、宮城県庁に勤務する前場大二氏から被災地ツアーの案が出され、本部に提案することとした。

2014年度総会は5月頃開催を予定。

11月7日記 八百隆文(53回)

出席者：(47)伊藤勝、(53)八百隆文、(63)山本至秀、(82)角田陽介、松田謙、(86)佐島育子、(89)前場大二、(97)久保田健、(98)増野元太、(102)上岡正也、以上10名

8月26日(月)にメルパルク広島で、25名が参加して開かれました。

議事に続き、ゲストの現校長古賀一博先生に「附属の現状」と題して。エバヤマザクラの組織培養成功などSSHの指定を受けてからの学校の活性化の様子をうかがいました。

懇親会は、本年度退職の有田正志先生[理科]、初参加の鳥井葉子先生[家庭]、久しぶりに参加の田村咲江先生[家庭]にスピーチをお願いしました。有田先生は、「非常勤講師としてまた附属の教壇に立っています」と挨拶されました。田村先生は、退職後に夢中になられたハーブの栽培の楽しさを話されました。おわりに、参加者全員がひと言ずつ近況を報告し、楽しく旧交を温めるひと時となりました。

11月20日記 田中泉(66回)

「アカシア元教官の会」平成25年度(第22回)総会・懇親会



第4列 鳥井葉子、田村咲江、山本克子、松井昶
 第3列 酒井秀三、湯浅清治、永田龍男、笹原豊造、有田正志、田中泉
 第2列 奥山研司、片山一法、紙田巧、有田嘉伸、南村俊夫、三宅重徳、松井政明
 第1列 多田保行、田鍋薫、中本薩雄、野地潤家会長、古賀一博校長、安原義仁、三上昭荘、太鼓矢晋

職域・クラブだより

中電アカシア会の懇親会を開催



11月1日、母校の隠善富士夫副校長先生を来賓にお招きし、中電アカシア会の懇親会を広島アンデルセン6階デンマークルームにて開催しました。

隠善副校長先生には、渡り廊下が撤去されすっきりした講堂や耐震補強等リニューアルされた校舎などの様子や、ユネスコスクールやスーパーサイエンスハイスクールなど母校が進める教育研究の概要をご紹介いただきました。

42回卒業の大先輩から99回の新入社員まで26名の皆様に参加いただき、乾杯の後には、先生や先輩、後輩の間で世代を超えて母校の思い出話など楽しい会話に花が咲き、あっという間に閉会を迎えました。

今年度も、熊野義夫会長(58回・中国電力顧問)のもと、参加いただいた皆様、開催にご協力いただいた皆様のおかげにより盛会に開催することができました。この場をかりてお礼申し上げます。11月19日記 谷川精志(73回)

平成25年度県庁アカシア会懇親会



7月22日(月)にアンデルセンで開催し、湯崎英彦知事(75回)を含めた26人の会員が集いました。冒頭の熊野良樹会長(64回)の挨拶の中で、会の若返りを図るため、次期会長として、幹事長である私が推薦され、全会一致で承認されました。その後、参加者全員が壇

上で近況報告等を行ったほか、湯崎知事を中心に懇談の輪が広がり、なごやかなうちに会が終了しました。今後も職員一同、「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かったと心から思える広島県の実現」に向け、頑張っていきたいと思っています。

11月20日記 杉山亮一(75回)

広島市役所アカシア会 親睦会



7月26日(金)に広島市文化交流会館で広島市役所アカシア会の親睦会を開催しました。

広島市役所アカシア会は、新たに新規採用職員2名を迎えるなどして、会員数は131名となりました。

業務等による欠席もあり、参加者は16名にとどまりましたが、新規採用職員1名を始め、幅広い世代の会員が参加しました。親睦会は、会長の三村義雄氏(62回)の挨拶で始まり、和やかな雰囲気の中、参加者がそれぞれ近況報告を行うなどし、充実したものとなりました。

7月30日記 森岡庸介(85回)

平成25年度アカシア歯科医会総会開催



平成25年8月24日福屋広島駅前店ルイエにおいてアカシア歯科医会総会を開催した。今年度山崎義之会長(45回)の後を引き継ぎ就任した新会長、柄博治先生(58回)の挨拶の後、昭和大学歯学部教授 馬場一美先生(70回)にご講演いただいた。馬場先生には、「睡眠時ブラキシズム」(ブラキシズムとは歯ぎしりのこと)についてご教示いただ

き大変興味深い内容であった。尚、会には45回から100回までの会員が参集し、最後は母校の校歌を合唱して幕を閉じた。今後も、年に一度このような会を開催していく予定である。

9月20日記 鈴木隆子(74回)

アカシア小児科医会開催



母校を通じて小児科医同士が知り合っており、親しく意見交換するべく、広島県内でご活躍の先生にお声かけをして平成25年8月25日広島駅前福屋 梅の花にて開催いたしました。原田玲先生(50回)の挨拶に始まり、クラブの思い出話、アカシア賞、先生の御消息や、おのおの近況報告等行い、普段の研究会等ではなかなかない話で盛り上がり、会は福屋のエレベーターが止まる22時まで、続きました。安井耕三先生(64回)の提案もあり、今後もアカシア小児科医会を年1回開催することになりました。ふるってご参加ください。

8月2日記 山本恵(76回)

アカシアサッカー三校OB戦開催



10月20日、恒例の三校対抗OBサッカー大会(国泰寺・修道・附属)が修道高校グラウンドで開催されました。OB戦に先立ち、現役同士の親善試合も行い、出来たての人工芝ピッチで交流を深めました。OB戦では、51回石田康輔・林道義先輩(大会MVP受賞!)、52回林浩二先輩をはじめとする60歳オーバーの熟練パワー6名に、若手は96回生まで計20名の布陣で臨みました。対修道7-1、対国泰寺5-2、国泰寺対

湯崎英彦君

広島県知事第2期当選おめでとう

74・75回同級生有志一同

アカシアの皆様のご支援・ご協力ありがとうございました。

修道3-3と、圧倒的な強さでアカシアSCが優勝しました。54回鈴木正道先輩の2ゴールや、54回横手靖吾先輩のゴールセーブにスタンドも大いに盛り上がりました。

表彰式・懇親会には三校計52名の参加で、優勝トロフィー授与後、43回吉田文次郎先輩の乾杯の発声から、いつものながらの楽しい交流となりました。

10月20日記 先本賢司(71回)

アマチュア無線班OB会開催



JA4YBRアカシアHAMクラブは、無線班創立以来50年連続参加となる、日本アマチュア無線連盟主催FDコンテストに合わせ、8月3日~4日に「野呂高原ロッジ」に1泊しOB会を行いました。

今年は某団体のロッジ貸切が急遽キャンセルとなり、思いがけず3年ぶりに思い出の聖地野呂山での開催です。50周年の節目の年に、関東、関西、広島県内から参加の61~82回10名に加え初代顧問の松井坦先生を17年ぶりにお迎えし、会は大いに盛り上がりました。

昨年より電波状態も良く、競技会スコアの伸びに比例してアルコール消費量も増加。日曜お昼は名物猪肉丼や猪肉ラーメンを堪能し、設備撤収後、来年の再会を約束し解散となりました。

継続開催にあたり、翌2014年の仮予約を済ませて下山しました。来年も多くのメンバーで盛り上がりましょう。

11月17日記 手島由裕(74回)

同期会だより

70周年に集う34回生

われら34回生、今年が卒業後70周年にあたるのを記念し、9月23日、東京



の学士会館に集まり、懇親会を開催し、同館に投宿。参加者は5名。今回の目玉は、串山正君御夫婦の、豪華客船飛鳥II号による、4ヵ月に垂んとする長丁場の、世界一周クルーズ大旅行の話。串山君の横溢せる気力と強靱な体力に敬意を表しつつ傾聴。茜色に染まったインド洋の果てしない天空、大航海時代を導いた喜望峰、ダカールの大地、カスバの迷路、ギリシャ・ローマの二大西欧文明を育んだロマン溢れる地中海、現代世界を牽引するアメリカ東海岸の諸都市、紺碧のカリブ海、コンテナ輸送の一大国際センターとして躍動するパナマ運河地帯のことなど、諸々、リアルな道中記が語られ、一同頗る感銘を覚えました。

翌日、東京駅八重洲口に架かる新名所グランルーフの、長大な屋根の、ユニークな造形美を鑑賞。やがて別れの時。一同、名残を惜しみつつ、更なる再会を念じながら解散しました。

永山吉則

43回E組会



4年ぶりのE組会、平成25年10月16日、横浜に16人が集まりました。どうなることかと気をもませた台風26号が足早に過ぎて、絶好の秋晴れに恵まれました。まず中華街散策。泊まりはローズホテルでじっくり時間をかけて会食と歓談。

翌日は、港の散策からシーバスで赤煉瓦倉庫へ向かいショッピング。仕上げは、荒井屋で元祖(?)牛鍋。すべて

思い出に残る充実した時間でした。11年前、同じ横浜でのE組会では、三木温美先生もお元気で、御夫婦揃ってご出席くださいました。思い出されます。

中村博之

44回生東京地区同期会開催



これまでほぼ年1回でおよそ40回開いてきた同期会、今年も6月に集まりました。会場は幹事の一人T君が盖茨橋大学のOBであるご縁で神田の如水会館を利用できました。

今年の参加者は予想を上回る38名、近年では過去最多の人数で、大変楽しい会となりました。東京・周辺地区在住者の半数以上ですが、盛会の理由は①久しぶりの珍しい顔も何人か出席した。②全員が77歳喜寿のバーを越え一つの区切りであった。③新しい会場で眼先が変わった。ことなどありますが、大きいのは無病息災の間間はほぼ皆無、「参加できる元気な間に、みんなの顔を見に行っておこう」という発想でしょうか。

来年は我われが卒業60周年の節目、5月に広島へ全国から集まり、全体の同期会を予定、楽しみです。

11月7日記 脇本崙

48回生卒業55周年同期会



秋の気配が感じられない残暑厳しい10月6日(日)リーガロイヤルホテル広島で開催した。遠くは北海道から2名など総勢77名が集い、5年前の同期会と同様に今回も盛り上がりを見せた。

Management & Systems Consultants

株式会社 システムズプランニング

取締役 岩崎尚之(75回卒)

本社 東京都新宿区本塩町4番地4 祥平館ビル
〒160-0003 TEL03-3351-0351 FAX03-3350-8712

ENAMEL 珐瑯という浴槽 ENAMEL + CAST IRON エコロジーへのひとつの選択
大和重工株式会社 代表取締役社長 田中保昭(54回卒)
〒731-0221 広島市安佐北区可部1丁目21-23 TEL(082)814-2101(代) 営業所/東京・大阪・広島・福岡
www.daiwajuko.co.jp

ただ、今回は元気な顔を見せていた級友数名が旅立ったのは淋しいかぎり。

遠方からの参加も多く、まずは事前懇親会ということで1階コルベエに集合し、喉を潤しながら懐かしい顔を確認したり、近況を話し合ったり、昔の思い出など、短く感じられた2時間だった。

午後5時からは32階ダイヤモンドルームに移り、北海道から来られた金屋敷恭子さんの乾杯の音頭で会が開始された。ゆっくり食事を楽しむ暇もなくテーブルの間を行き来して更なる話に花が咲いた。卒業クラス別に記念撮影をしたが、直ぐにはクラスがわからず撮影に時間を要したのも55年の年月を感じる。考えてみると来年は後期高齢者、正しく立派な老人組。終りに校歌を全員で斉唱し、中村成朗君の次回60周年に期待を込めた挨拶で二次会に移った。場所を変え7時半から33階スカイラウンジで夜景を楽しみながら時を忘れて歓談し、再会を約した。

翌7日(月)はゴルフ好きの有志が広島カンツリー倶楽部でコンペを行った。最初は3組の予定であったが、諸般の事情により急きょ1組減ってのラウンド。少々暑かったが、快晴のもと白球を追いかけプレーを満喫した。

今回の同期会開催に当たって、何かとご苦勞を掛けた世話役の中田研一君、山浦孝行君、舟橋和男君に感謝したい。次回は彼らの健康次第だという話もあるが、我々はまだまだ往ける、広島カープのように！10月12日記 三川敬夫

49回同期会



49回生は10月20日に博多都ホテルで同期会を開催。30名が参加した。地元山田(西丸)直子さんの司会、森田(横山)邦子さんの幹事役のもと、遠来の

山口邦明君(一票の格差弁護団で奮闘中)の音頭で乾杯して開宴。各自数分ずつの近況報告で旧交を温めた。

約2時間の宴の後、記念写真撮影。ほとんどのメンバーはホテル内のバーに移動してさらに歓談。話題がもつぱら健康と孫の話になるのは年齢相応だろうか。それでもその後夜の中洲へ繰出した元気な連中もいた模様。

博多見物は当日と翌日、各自それぞれで行い流れ解散となった。来年の開催地決定は先送りとなったが名古屋近辺が候補に挙がった。山田、森田さんの尽力に多謝。10月24日記 玉井田泰

アカシア51古稀記念同期会



全員が70歳を超えたのを機に、古稀記念同期会を、10月8日、横浜中華街の華正楼で開催。九州、中四国、近畿から参加の人を含め、39名が集まった。広島から参加の女性陣は特別バックを組んで参加。中には、卒業以来、初めて参加した人もあり、和やかで賑やかな集まりになった。

広島から参加の寒川起佳君が、広島の経済状況を含め開会の挨拶、東京の川瀬隆弘君が乾杯の音頭、また、先の参院選で5選を果たし参議院会長に就任した溝手顕正君が、最近の心境を披露した。

参加者のスピーチの中で、孫の話、広島カープの活躍、自身の健康やボランティア活動、著作の紹介などがあり、盛上った。2020東京オリンピックの年には、喜寿記念の同期会を開こうとの提案が出された。

翌9日、台風24号の影響が心配されたが、素晴らしい秋晴れの下、横浜山手と北鎌倉の2つのコースに分かれて、歴史文化探訪を楽しんだ。元気で再会できることを約して、同期会を終

えた。 11月6日記 沖吉和祐

アカシア57回生、復活コンサートと同窓会を開催



11月23~24日、57回生卒業後最大のイベントを取行しました。

初日、音戸の瀬戸を見下ろす絶景地点で、55名が同窓会を行い、鬼籍に入った16名の仲間と47名の恩師の方々への黙とうを捧げた後、加藤仁司君と内田匠三君のピアノ演奏をバックに、卒業後半世紀、たまりに溜った出来事を語りあい、あつというまの3時間半が過ぎました。

翌24日懐かしい母校講堂で、47年ぶりに復活した「モスキートーズ」(ピアノ小谷教夫君、ベース挾間孝君、ドラム高名健君)が、洗練されたモダンジャズ演奏で、150名の同好の士達を酔わせました。

演出家の井上思君と附高軽音楽班員11名の皆さんの献身的なコラボにより、コンサートは大盛会となり、最後の校歌の合唱では、涙ぐまれる方もいらっしゃいました。 佐々木隆雄

アカシア74・75回生合同同窓会



来る2013年8月16日アカシア74・75回生合同同窓会を広島アンデルセンにて開催した。恩師として、中本薩雄先生、南村俊夫先生、井ノ迫泰弘先生、有田嘉伸先生 以上4名(菅原敬三先生は、この後開催のアカシア会にご参加)をお招きし、74回生8名、75回生27名の合計39名が出席した。今年度、75回生はアカシア会上幹事であり、広



**医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院**

理事長 荒木 攻
院長 沖 修一
事務部長 松下 督克 (75回)
麻酔科 森川 真吾 (79回)
理学療法士 栗原 彩子 (93回)

広島市西区庚午北2丁目8-7 TEL 082(272) 1114
<http://arakihp.jp/>

**天然石・中国雑貨・風水グッズ販売店
開運風水ドットコム Yahoo! 店**

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/kouyuu/>
TVドラマ「独身貴族」に弊社の商品が使われました!



こうゆう ネットショップ
統括責任者
株式会社 廣友 76回 松浦 勇人
TEL 082-272-1353

鳥在住コアメンバーの熱心な声かけのおかげで、お盆の帰省時期であったにも関わらず多くの人が集まった。

各先生方から近況をご報告頂いたのち、最遠方から参加(したことにした)の上田倫夫君の乾杯の後、お元気な先生方、懐かしい同窓生との久しぶりの再会を喜び合う歓声があちこちで沸き起こり、楽しい同窓会となった。途中、広島県知事である湯崎英彦君の挨拶もあり、大いに盛り上がり(見事に二期目も圧勝で当選、おめでとう!)、最後はアカシア会司会役の松下督克君の中締めによりお開きとなった。 梅岡俊

アカシア80回海外ツアーinバンコク



アカシア例会の下幹事がきっかけで、東京広島はもちろん、全国各地で同窓生のつながりができ、80回生のSNSには出張先で開かれるミニ同窓会の話が満載です。海外に赴任している同期も多く2012年に在シンガポールの仲間を訪ねた話題から…今年は何と盛り上がったことがきっかけでした。

2013年6月、東京、広島、シンガポール、バンコク在住80回生が集まることに。土日を利用して2泊3日の弾丸

ツアー。ワッポーでヨガのポーズをし(写真)水上マーケット、メークロン線路市場…アカシアパワー全開の楽しい時間でした。その後も80回生は、広島はもちろん、東京では神宮球場でカープを応援したり、海外ではチリやバルセロナでも同窓生が再会した話題が届いています。

さて2014年、どこでどんな同窓会が開かれるのか楽しみです。

大上はるみ

2014年版会員名簿 広告主一覧(110件)

ご協賛ありがとうございます。

- [同期会] アカシア41期会、46回卒業生有志一同、59回卒業生、62回三金会、アカシア62回、アカシア65回、67回同期会、75回有志一同
- [職域アカシア] 中電工アカシア会、中国電力アカシア会、県庁アカシア会、市役所アカシア会、アカシア歯科医会
- [クラブアカシア] アカシアサッカークラブ、広島大学附属高等学校野球班OB会、アカシア仙人ゴルフ会
- [企業・個人(卒業回順)] ㈱大本組、長沼商事㈱、広島管財㈱、千田興業㈱、賀茂鶴酒造㈱、㈱東広島ケーブルメディア、㈱大之木ダイモ、鳥外科内科、(医)岩国病院、五洋建設㈱、(医)日域医院、キョーリツ㈱、㈱大方工業所、萬国製針㈱、(医)ヒノ井医院、メガネの田中チェーン㈱、日の丸産業㈱、㈱立芝、特別養護老人ホームたちばな苑、井藤壯太郎、(医)社)博愛会、(医)紀陽、公益財団法人広島県サッカー協会、㈱合人社計画研究所、㈱さくら保険企画、馬場則行、新中央工業㈱、アイトフーズ㈱、広島運輸㈱、(医)社)桃李会平和の里、大和重工㈱、横子靖吾、慶友整形外科、㈱ダイナミクス、(医)わかば会岩本内科医院、(医)翠和会養神館病院、東洋紙業高速印刷㈱、しむず眼科医院、(株)中国新聞社、(株)シエーガス広島、ひろしま交流協同組合、井藤矯正歯科、天島純子、(南)丸益西村屋、肥後医院、(南)敬愛ファーマシー、吉元徹也、産婦人科長尾クリニック、(医)社)俊幸会中川外科胃腸科、(株)感性舎、(株)広島東洋カープ、㈱みづま工房、(医)社)曙会佐々木外科病院、(株)いまだ、松本峰人、延近正章公認会計士事務所、(株)ユニバーサルポスト、(株)シンコー、(株)山縣本店、(株)アルト、(医)社)祐和会大石クリニック、山陽工業㈱、㈱マツラ、さんもく工業㈱、ニットハウス㈱、つばめ交通㈱、(医)社)楓会林病院、(株)融合事務所、折口内科医院、藤元内科ファミリークリニック、ウエノヤビル㈱、むぎ耳鼻咽喉科医院、シンセイ㈱、(医)わかみやメンタルクリニック、D.P.C.第一入力センター、S-JapanPsychologicalServices、カルビー㈱、熊野税理士事務所、(南)ジュспа、畑秀樹税理士事務所、(株)部谷工務店、(株)広島重カープ事業部、(医)隣田耳鼻咽喉科医院、広交グループ協同組合、クリエイティブコミュニケーション、すずき歯科小児歯科、備北ななつか病院、(医)浅田レディースクリニック、(株)福屋、(株)千葉物流倉庫、堀口海運㈱、(株)鳥屋、エス㈱、(株)たきのほり不動産

移民史研究の功労者 ジャック田坂養民先輩(23回)逝く

ハワイ州ホノルルの裏オアフに抜けるヌアヌ峠がある。そこに長い間住んで文筆活動と移民史の研究に没頭していた「ヌアヌの仙人」が先日98歳で世を去られた。広島高等師範学校の附属中学で学んだ大先輩である。



晩年の田坂氏(早坂撮影)

なくされたが、レーガン大統領の時、米国政府から陳謝と纏まった金額をおくられて決着がついた。後になって見ると、この収容所で多くの有力者と親しくなったのは不幸中の幸いというべきであった。

「その頃は、女子(おなご)はおらんかった」と思い出を語り、両親が広島市の水主町(今の中区加古町)出身だったので、ホノルル生まれの田坂さんも3歳のときハワイからひきあげて広島に住むことになった。附属小、中学から大阪商科大(大阪市立大)予科に進み、ハワイに1937年に戻ったので帰米二世と呼ばれた。ホノルルの日本語学校で教鞭をとり、教え子の中には有名人になった人も少なくなかったという。戦時中は2年間収容所生活を余儀

ハワイではジャック田坂と呼ばれホノルルの放送局に入り、2ヶ月にわたって日本の取材旅行に出て大活躍したのが彼の華やかなキャスター時代だったようだ。なにしろ戦勝国アメリカのメディアから、日本語を流暢に話すのだから、文字通り下へも置かない待遇で、総理大臣をはじめ、政財界の大御所、それに芸能界の人たち大勢とも会見して、録音テープをどんどん送ってよこしたのだから一躍有名人になったのである。そのとき帝国ホテルが一晩6ドルだった、と嬉しそうに話

していたのが忘れられない。

60歳になり、放送局を引退したら移民史研究をやることにしていた田坂さんのライフワークがスタートする。著書には移民史研究と文化芸能に関する纏めが進捗し「ハワイ文化芸能100年史」と炎天下の砂糖糖畑で耕作のひとびとが悲喜こもごも歌った「ホレホレ節」がある。明治18年から官約移民が始まり、田坂さんの父親も広島県を代表して多くの移民の送り出しに携わり、入植してからの待遇改善などに多大の貢献をした人でもあり、親子2代に亘り細かく内部事情に亮通していたのであった。

晩年、田坂さんは、綺麗に澄んだ小笠原の海を思い浮かべていたものだったが、同じように青く澄んだアラ・モアナ公園のマジック・アイランドが散骨の場所となったのは、ぴったりイメージが合致して喜ばしく思われた。

早坂(住田)知栄子(52回)



福屋八丁堀本店

Faithful & Friendly
皆様の百貨店、Fukuya。



福屋広島駅前店

玉井優子(84回)さんからのご紹介



自己紹介と、次号登場される方をご紹介します。多く先輩・同級生・後輩の皆さまと交流できて感謝しています。中高時代はサッカー、管弦、マズ、応援団の活動を通じて、先生や仲間と迷惑をかけた恥ずかしい思い出ばかりですが、附属出身でよかった、と心から思える素敵な仲間でした。

④チャレンジングな会社を経営する、優秀な後輩をご紹介します！

- ① 梶川 拓也(82回)
② 東京都目黒区
③ IT関連の会社を営んでいます。今年度は東京アカシアの幹事を務めたことで、多くの先輩・同級生・後輩の皆さまと交流できて感謝しています。

自己紹介と、次号登場される方をご紹介します。

出てもうってま ええかいのま

会員リレー紹介 82

項目説明

- ① お名前と卒業回数
② お住まい
③ お仕事、自己紹介、母校の思い出
④ 次号登場の方との関係

永町佳隆(96回)さんからのご紹介



者だらけの芸大の中でもかなりマイナーな研究に没頭した大学生生活でした。来年からはアパレルの会社に就職します。体育祭で2年間赤チャアができたのは自慢の思い出で、当時の衣装は大事に東京に持ってきています。とにかく広島が大好きなので、東京5年目の今も気にせずバリバリの広島弁です！

① 浦邊 胡桃(99回)
② 東京都豊島区
③ 東京藝術大学に在籍し、美術史の研究をしています。専門は「江戸時代の春画」で、変わり

♡ビバ!アカシアカップル④♡



夫：森田 慎司(93回)
妻：森田 智世(93回)旧姓：湯浅
2009年10月結婚(5年目)
馴れ初め：高校3年間は同じクラスでしたが、ほとんど話すことはなく、卒業。その後、縁あって付き合うこととなり6年半の交際を経て、結婚しました。現在は2歳になる長男を中心に、笑顔のたえない家庭となっています。アカシアカップルで思うこと：どちらかの附属時代の友人が自宅に遊びに来ても、共通の話題で盛り上がる事ができるのは楽しいですね。
夫から一言：広島が恋しくて、2年前に転職して東京から戻ってきました。やっぱり故郷は良いです。
妻から一言：自己主張が出てきた息子の育児に奮闘中です。育児を通して息子と共に成長できるよう頑張ります。

アカシアライブラリー 寄贈資料の紹介

(2013年7月~12月)

(敬称略・受付順) 太字は寄贈者

資料のご提供ありがとうございます。
・岩谷行雄(54回)著「邪馬壹国讃歌-大安萬侶への鎮魂歌」「卑弥呼の一生-紫式部への鎮魂歌」(54)岩谷行雄
・平岡誠二(坂本 寛)(57回)著「人間専科-あるいは教師というアポリア」(57)末田憲章
・アカシア会第40回編「最後の同期会」(平成24年5月25日開催の40回生同期会の報告。在校時の思い出も含めて冊子にまとめ、母校にも寄贈された。)

- ・柳生研太郎(51回)作絵本「青い空」(51)柳生研太郎
・古浦敏生(47回)著「イタリア語文法研究」(47)福永悠一郎
・安部田ゆかり(72回)著「会社も社員も喜ぶ!『社会保険料』の節減」(72)安部田ゆかり



40回生が母校へ同期会冊子を寄贈した際の様子

事務局だより

◆全国版会報発送は、今年度月例会下幹事の81回生を中心に、80回生、82回生の皆様にお手伝いいただいています。(↓頁下の写真は昨年7月号発送の様子)

◆アカシア会会員数(1~103回) (2013年11月30日現在・単位:人)

Table with 4 columns: Category, Total, Male, Female. Rows include Total Members (15,438), Current Members (11,167), Unknown (1,174), and Deceased (3,097).

訃報

(2013年7月以降判明)

Table of obituaries listing names, birth dates, and death dates for members who passed away in 2013.

激務にお疲れの勤務医必見!! 診療所売却致します

当直・救急が無く誰にも縛られない自分のやりたい医療が手軽に出来るチャンスです。開業が不安な方のためのお試し開業(賃貸)も可能です。場所は安芸高田市八千代町、国道54号線沿いの好立地、近隣に競合する診療所無し。内視鏡、エコー、電子カルテ等備え付けのため、今すぐにも勤務開始可能。お気軽にご相談・見学へお越しください。

TEL 082-249-2277, E-mail: ntake12@gmail.com 竹本尚史(82)



12月例会レポート

今月も吉中康磨広島アカシア会会長(50回)の挨拶で開会した。

「人生はミュージカル」
俳優・歌手 川上和之氏 (77回)

小さい頃から歌うことが大好きで、歌うことが喜びでした。言葉をしゃべるよりも歌うことのほうが早かったと聞いています。中学3年の頃から「プロになって歌いたい」思いが芽生え、オーディション等に参加し、高校2年の時、初めて曲を書き始め、全国大会に出場しました。その後プロを目指して東京へ。1992年、「KAZZ」としてキングレコードよりプロデビュー。人生を変えた作品レ・ミゼラブル歌手としての活動が停滞していた頃、「フットルース」いうミュージカルに出演しました。その後、ファンでもあり歌の師匠でもある岩崎宏美さんからの勧めで「レ・ミゼラブル」のオーディションを受け出演しました。これらのミュージカルはブロードウェイからきている素晴らしい作品ですが、英語を日本語に訳すということに違和感を感じていました。



私にとってのミュージカルとは一日常、良い事や気持ち良いことがあった時、つい歌いたくなる、身体が動いてしまう、そういった感情が高ぶった時がミュージカルでないかと考えています。

劇団「三ツ星キッチン」旗揚げ一結局、自ら日本人が日本語で演じるミュージカル劇団を立ち上げました。キモかわオタクサラリーマン「高田安男」という今までの自分とは全く違うキャラクターが誕生し、演じ続けております。高田安男が笑わせて泣かせるオリジナルミュージカルを創り続け、今年全国5都市で上演しました。お客さんが笑顔になることをみるとやめられないですね。

今後の活動一劇団三ツ星キッチン・高田安男としての邁進。KAZZとしての歌うことの追求。20代では歌えなかった曲が歌えるようになってきまし

た。人生を楽しみミュージカルとして捉えて頑張ります。

懇親会

ビンゴ大会は、諸先輩方から沢山の景品を提供して頂き、大盛況。ありがとうございました。

最後に川上先輩に、レ・ミゼラブルから「夢破れて」を歌って頂きました。

12月17日記 光藤亮介(81回)



12月例会出席者(敬称略93名)

- (41)新井俊一郎、菊地日朗、高田 勇、(43)後藤吟子、(44)山本正一、(48)中田研一、(49)土井田 泰、(50)井藤壮太郎、小川玲子、向井恒雄、吉中康磨、(51)上土康弘、(53)馬場則行、(55)吉原通代、(57)神島京子、佐々木隆雄、天島純子、(59)松本 薫、三好 新、(62)本田和哉、(63)甲斐 稔、(65)谷田部広志、(66)木本芳弘、(67)高橋浩一、高橋裕子、竹爪真弓、(68)白神聖也、(69)植本良二、(70)川上伸一、(71)先本賢司、(73)青木基容子、内山一紀、澤山智之、中野美智子、西原利典、(74)高下弘司、(75)井坂雄幸、梅岡 俊、児玉幸子、杉山智恵、杉山亮一、十河泰成、豊田紀代子、中川祥子、萩原睦子、島中清美、花園幸恵、松下督光、三浦陽子、三歩千晴、吉山昌之、(76)安部 良、松浦勇人、宮井ふみ子、(77)石本一成、川上和之、菅坂典子、杉浦礼子、中村智恵、藤井哉子、松田里絵、(78)方井周吾、楠原千津恵、清水満明、(79)青山和江、(80)大上はるみ、中橋啓子、(81)吾郷里華、今岡俊之、沖井明、木下和敬、京極佳子、下山武志、竹岡麻里、中原正晴、光藤三保子、光藤亮介、吉田 誠、好永裕一、(82)楠田朋代、中田 宏、二井谷真由美、森 直樹、藪 聡子、吉井良平、(84)神島 静、(85)栗栖史臣、(89)中川龍央子、(95)後藤浩祐、(96)猪谷裕美子、倉信達臣、(99)古谷ゆう子、(101)三宅沙季

会報編集委員会報告

平成25年8月27日、アカシア会館にて、甲斐稔事務局長(63回)、陰山秀明周年事業広報記録部会長(63回)をゲストにお招きし、下期会報編集会議を開催しました。110周年記念事業の広報と連携し、読者の皆様に喜んで頂ける紙面づくりを目指し、長時間に及び議論しました。主な議題は、①110周年記念事業について、②下期月例版掲載計画立案、③1月号全国版掲載計画立案。上期に引き続き、会員の皆様にご登壇いただくコーナーも用意しますので、御協力下さい。

また、この委員会に参加されたい方は是非、ご連絡下さい。



後列左より、岩崎純子(69)、吉野かおり(79)、森川真吾(79)、大田陽子(74)、京極佳子(81)、前列左より、佐々木隆雄(57)、甲斐稔(63)、陰山秀明(63)、中本泰弘(65)、三隅俊行(66)

月例版会報は毎月発行!! ぜひ購読を

1月と7月発行の全国版会報は全会員の皆様にお送りしていますが、それ以外の月にも月例版会報を発行しています。年間購読料2,000円をお支払いいただければ、1月と7月を除く月にも会報をお届けします。購読のお申込みは、アカシア会ホームページから、または、お電話(平日10時~15時)、Eメールにてお願いします。

浩然の気

広瀬節夫先生、福森信夫先生、石井淳二先生、南村俊夫先生、村上一三先生

出てもらうてもええかいのお

平野直彦(71)→相良(星加)英美(73)→藤元貴啓(68)→松本(田川)康子(67)→平岡誠治(86)→明田(野口)知子(88)→花園泰憲(75)→今村世津(85)→岡田昌信(63)→岡本隆嗣(84)→大塚俊和(84)→玉井優子(84)

永江亘(90)→中井優(90)→新谷和晴(88)→松浦亮介(88)→吉岡志野(93)→福永健太(91)→大井智保子(92)→木村善行(93)→栗根友花(97)→井門勇樹(94)→大崎(今村)美由希(95)→永町佳隆(96)

ピバ!アカシアカップル

上垣内茂樹(66)・伸子(66)、進藤明(57)・多万(59)、川崎茂(61)・雅子(62)、大心池清和(70)・浩珠(72)、佐藤友治(65)・博子(67)、小山健夫(47)・奎子(47)、進藤克郎(71)・貴子(73)、隅田伸二(71)・ますみ(71)、品川雅史(69)・玲子(69)

平成25年1月号から12月号までにご登壇いただいた方々です。

飲酒は20歳を過ぎてから。

常に品質最高を心がける

本社・醸造蔵 / 〒739-0011 広島県東広島市西条本町4-31
TEL(082) 422-2121
東京支社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸薬町1-12-9
TEL(03) 3668-4111

賀茂鶴酒造株式会社

石井泰行(43)



この一杯は 豊饒の海
君がいて 宇宙が歌って
果てもなく 夢かりたてる
飲ぶの歌 辛きその日も